

令和2年度シラバス (教科・科目：地理歴史・地理B)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	4	必履修

教科書	学習書・他教材
『地理(東京書籍)』 『詳解現代地図(二宮書店)』	なし

学習目標
世界の人々の生活・文化に関する地域の特徴と現代の動きについて、歴史的伝統や日本と関連づけながら理解し多面的に考え、地理的な見方や考え方と自然条件や社会条件の要素に注目して学びます。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲
第1編 さまざまな地図と地理的技能(30) 第2編 現代世界の系統地理的考察(40)	第1章 地理情報の表現方法(15) 第2章 地図の活用と地域調査(15) 第1章 自然環境～地形、気候、日本の自然環境、世界の自然環境(10)	前期中間考査
	第2章 産業と資源 農林水産業、資源エネルギー、工業、流通と消費(10) 第3章 人口、村落・都市～人口、村落・都市(10) 第4章 生活文化、民族・宗教～衣食住、言語と宗教、民族と国家(10)	前期期末考査
第3編 現代世界の地誌的考察(70)	第1章 現代世界の地域区分(10) 第2章 現代世界の諸地域～東アジア、東南アジア、南アジア、西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア(50)	後期中間考査
	第3章 現代世界と日本～日本が直面する地理的な諸課題、日本が関わる地理的諸問題を探究する(10)	後期期末考査

計140時間(50分授業)

評価基準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
② 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 資料活用の技能	④ 知識・理解
授業を中心に学習意欲や協力する態度を身につけ地理的な視点から国際社会に主体的に責務を果たそうとする。	発問に対する回答や定期考査などを中心に国際社会の変化を踏まえ公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	定期考査のみならず、小テストや提出物などを見て、総合的に理解し、その知識を身につけている。
<ul style="list-style-type: none"> 定期考査および授業中の小テスト 授業時のプリントは回収し、評価の対象とする。 			

授業の進め方、課題・提出物など
<ul style="list-style-type: none"> 教科書、ノート他に、プリントを配布し授業中に使う。 プリント学習は、作業終了後に提出し、評価の対象とする。

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 教科書・ノート・筆記用具を必ず毎時間用意してくること。 成績は定期考査の成績を中心に、出席状況・提出物・ノート作成の状況や授業態度などを総合的に勘案して評価します。